

横浜 I R（統合型リゾート）について

日頃より自治会町内会の皆様方には横浜市政にご協力賜り、厚く感謝申し上げます。
今月は、以下 2 件についてお知らせいたします。

1 横浜イノベーション I R シンポジウムの録画配信について

3 月 27 日（土）にオンラインで開催した「横浜イノベーション I R シンポジウム」の録画配信を開始しました。横浜市 HP からご覧ください。

URL: <https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/IR/210327sympo.html>



横浜イノベーション I R シンポジウムの概要

総再生回数	296 回（瞬間最大視聴数：134）
構成及び 主な内容	<p>（1 部） 岸 博幸 慶應義塾大学大学院教授による講演</p> <p>（主な講演内容）</p> <ul style="list-style-type: none">・世界中の人々は日本の伝統文化や食に関心がある。彼らを取り込んでいくべき・ご懸念を持つ方がいらっしゃるので、市も対話、説明を続けていくべき <p>（2 部） 慶應義塾大学大学院 岸 博幸教授、 お笑いタレント 村上 知子さん、 横浜国立大学大学院 川添 裕教授（当時） KPMG 有限責任あずさ監査法人 丸田 健太郎さん によるパネルディスカッション</p> <p>（主な発言内容）</p> <ul style="list-style-type: none">・街が変わることは不安にもなるが、I R を知ると面白味があるもので、世界から来る方々の日本の窓口になると感じた。・横浜が文化観光都市として進化することが税収の観点からも非常に重要。その切り札が I R と思うので、市民の皆様にも広い観点から横浜の将来を考えていただきたい。・横浜はデジタル共生の都市としてこれからもやっていくべき・各国では、I R が社会の課題を解決するためのツールとして使われている。横浜でも財政などの課題を解決する I R になると期待している。

2 IR事業説明会実施結果の公表について

2月から3月にかけてオンラインで開催したIR事業説明会のアンケート結果を横浜市HPで公表しました。(別紙参照)

なお、IR事業説明会で配信した副市長によるあいさつ、「横浜IRの方向性」及び「実施方針」の説明についても、横浜市HPでご覧になれます。

URL: <https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/IR/jigyosetsumeikai.html>



担当 都市整備局 IR推進課

TEL 671-4135

FAX 550-3869

I R（統合型リゾート）事業説明会 アンケート 全6回（DVD等視聴含む）結果

■開催概要

開催回	開催日	当日参加者 Zoom（人）	質疑応答 （件）	アンケート （件）	Youtube 視聴者（人）
1	令和3年2月6日(土)	69	12	37	92
2	令和3年2月12日(金)	56	8	35	81
3	令和3年2月20日(土)	49	8	32	64
4	令和3年2月26日(金)	26	7	13	48
5	令和3年3月7日(日)	25	6	16	54
6	令和3年3月14日(日)	46	7	29	56
その他	DVD等視聴	-	-	8	-
合計		271	48	170	395

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況等を考慮して、サテライト会場の設置を中止しました。

なお、サテライト会場申込者の代替措置として、YoutubeまたはDVDを視聴した8人の方から、専用のWEBフォームや書面により、アンケートをご提出いただきました。

■タイムスケジュール

- ・ 冒頭あいさつ（副市長によるビデオメッセージ）【3分程度】
- ・ 事務局による事業説明 【30分程度】
- ・ 休憩／質問作成 【20分程度】
- ・ 質疑応答 【40分程度】

各アンケート項目の割合については、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

1 年齢

項目	回答数	回答の割合
10代	2	1.2%
20代	9	5.3%
30代	55	32.4%
40代	25	14.7%
50代	27	15.9%
60代	26	15.3%
70代	26	15.3%
80代	0	0.0%
計	170	100.0%

30代が約3割と最も多くなっています。

2 現在の職業

項目	回答数	回答の割合
自営業	18	10.6%
会社員	62	36.5%
会社経営・役員	32	18.8%
公務員・団体職員	11	6.5%
主婦・主夫	11	6.5%
学生	4	2.4%
無職	20	11.8%
その他	12	7.1%
計	170	100.0%

「会社員」が最も多く、次いで「会社経営・役員」の順となっています。

3 在住・在勤・在学

項目	回答数	回答の割合
鶴見区	3	1.8%
神奈川区	13	7.6%
西区	25	14.7%
中区	18	10.6%
南区	7	4.1%
港南区	6	3.5%
保土ヶ谷区	9	5.3%
旭区	6	3.5%
磯子区	1	0.6%
金沢区	10	5.9%
港北区	17	10.0%
緑区	5	2.9%
青葉区	11	6.5%
都筑区	6	3.5%
戸塚区	12	7.1%
栄区	10	5.9%
泉区	2	1.2%
瀬谷区	1	0.6%
回答なし	8	4.7%
計	170	100.0%

「西区」が最も多く、次いで「中区」、「港北区」の順となっています。

4 本説明会は何で知りましたか。

項目	回答数	回答の割合
広報よこはま	57	33.5%
横浜市のホームページ (公式ウェブサイト含む)	36	21.2%
横浜イノベーション I R 公式Facebook	4	2.4%
新聞、インターネット記事	18	10.6%
知人の紹介	22	12.9%
その他	33	19.4%
計	170	100.0%

「広報よこはま」からが情報源として最も多く、次いで「横浜市のホームページ」の順となっています。

5 I R（統合型リゾート）については、どの程度知っていましたか。

項目	回答数	回答の割合
詳しく知っていた	43	25.3%
大まかに知っていた	111	65.3%
名前を聞いた事がある程度	14	8.2%
ほとんど知らなかった	2	1.2%
計	170	100.0%

「詳しく知っていた」、「大まかに知っていた」が合わせて約9割となっています。

6 I Rに行ったことがありますか。

項目	回答数	回答の割合
はい	55	32.4%
いいえ	115	67.6%
計	170	100.0%

I Rに行ったことがある方は約3割となっています。

7 今回の説明会で、I Rの内容や実施方針についてどの程度理解が深まりましたか。

項目	回答数	回答の割合
深まった	38	22.5%
やや深まった	68	40.2%
どちらとも言えない	23	13.6%
あまり深まらなかった	17	10.1%
全く深まらなかった	23	13.6%
計	169	100.0%

「深まった」「やや深まった」が合わせて約6割となっています。

8 理解を深めることができた内容は何ですか。（3つまで）

有効回答者数: 170 のべ回答数: 335

項目	回答数
横浜 I Rの方向性	101
I R施設の構成（種類、機能、規模）	62
民設民営による整備・運営や事業方式	62
カジノ収益の用途	36
依存症・治安対策等の取組	31
該当なし	32
その他	11

「横浜 I Rの方向性」が多く、「I R施設の構成」、「民設民営による整備・運営や事業方式」が並んでいます。

9 分かりづらかった内容は何ですか。(3つまで)

有効回答者数: 169

のべ回答数: 267

項目	回答数
横浜 I Rの方向性	21
I R施設の構成(種類、機能、規模)	27
民設民営による整備・運営や事業方式	45
カジノ収益の使途	50
依存症・治安対策等の取組	53
該当なし	47
その他	24

「依存症・治安対策等の取組」、「カジノ収益の使途」、「該当なし」の順となっています。

10 あなたや、家族・友人など身近な人たちにとって、
I Rのどのような部分に魅力を感じますか(3つまで)

有効回答者数: 170

のべ回答数: 362

項目	回答数
観光客の増加	45
市内経済の活性化	78
税収の増加	64
働く場所の増加	21
観光・エンターテインメントの場の増加	55
市内の文化・芸術の発展	20
豪華なホテルの利用	6
カジノの利用	17
該当なし	40
その他	16

「市内経済の活性化」、「税収の増加」、「観光・エンターテインメントの場の増加」の順となっています。

11 あなたや、家族・友人など身近な人たちにとって、
I Rのどのような部分に不安を感じますか。(3つまで)

有効回答者数: 170

のべ回答数: 405

項目	回答数
観光客の増加によるトラブル	25
交通渋滞や公共交通機関の混雑	31
横浜のイメージの悪化	42
依存症の増加	57
青少年への悪影響	34
マナー・ローンダリング	41
反社会的勢力の関与	70
周辺地域の治安悪化	63
該当なし	17
その他	25

「反社会的勢力の関与」、「周辺地域の治安悪化」、「依存症の増加」の順となっています。